

# 環境の取り組みについて

## 1. 地球温暖化防止対策の推進

### (1) 背景・目的・目標

■品川区環境基本計画（平成30年3月策定）で温室効果ガス削減目標を設定し、目標達成に向け各種施策を展開している。

≪目標値：令和9年度における温室効果ガスを平成25年度比で33%削減≫

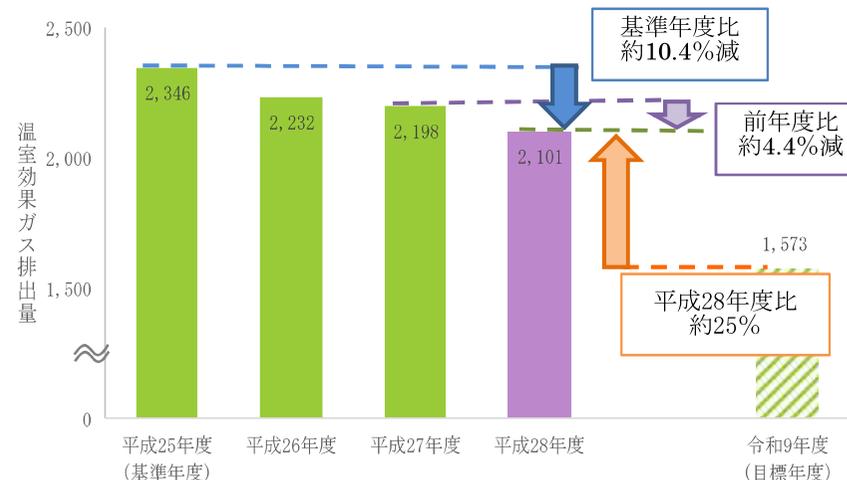
■基本計画の基本目標で「低炭素な暮らし・仕事・まち」（地球温暖化対策）の実現を目指す。

### (2) 内容

- ①家庭、事業所、区施設における省エネルギーの推進
- ②家庭、事業所、区施設への低炭素なエネルギーの導入促進
- ③暑さ対策



(単位:kt-CO<sub>2</sub>) 品川区における温室効果ガス排出量の推移



## 2. 使い捨てプラスチック製品の削減

### (1) 背景・目的・目標

■世界的な“脱プラスチック”の流れのなか、区民に対し、プラスチックの環境影響について考える機会を提供する必要がある。

■多くの区民が来場するイベントにおいて、容器類の置き換えによりワンウェイ（使い捨て）プラスチック削減の意識付けを行うことで、品川区環境基本計画の共通目標である「日常的に実践する人」を育てていく。

### (2) 内容

- ①各種イベントにおけるワンウェイ（使い捨て）プラスチック削減
- ②エコバッグの作成・配布



モールドどんぶり



紙ふた



木製スプーン

## 3. SHINAGAWA “もったいない”プロジェクト

### (1) 背景・目的・目標

■東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は、日本発の世界共通語“もったいない”の精神を普及させ、環境を優先して行われるため、数種の競技会場となる区においても、この精神を普及するため、「食品ロス削減」をテーマに啓発事業を展開することで、区内の環境意識の向上を図り、魅力あるまちづくりにつなげる。

### (2) 内容

- ①もったいない推進店との連携
- ②フードドライブの実施



# リサイクル事業について

資源の有効利用とごみ減量を図り、地球環境を守る資源循環型社会を実現するため、家庭から出る資源を回収している。回収した資源については、中間処理後に再生処理業者へ運ばれリサイクルされている。

## 1 資源の回収

### (1) 資源ステーション回収

区内の資源回収ステーション（集積所）で、資源回収を実施している。

資源回収品目は古紙（新聞、雑誌、段ボール、紙パック、雑がみ）、びん、缶、ペットボトル、プラスチック製容器包装、乾電池、蛍光灯、水銀体温計・水銀血圧計（8品目・12種類）で週に1回の回収を行っている。

### (2) 拠点回収

家庭で不用になった、古着・廃食用油・不用園芸土・小型家電について小学校などの区施設31カ所で月2回の資源回収を実施している。

### (3) 集団回収

町会やマンション管理組合などで自主的にグループを作り、回収の日時・場所を決めて、資源を資源回収業者に引き渡している。

#### 支援内容

- ・報奨金の支給 回収団体に対し回収実績に応じて1kgにつき6円を支給。
- ・協力金の支給 雑がみを回収した団体に対し、1カ月につき1,000円を支給。
- ・用具の支給 消耗品（PPひも・軍手・資源持ち去り防止テープ・標識旗等）支給。
- ・感謝状の贈呈 優良リサイクル団体に感謝状等の贈呈。
- ・ルート対策費 回収業者に対し、古紙の市況が一定額を下回った場合に支給。

## 2 資源の中間処理

資源ステーションや拠点回収にて回収した資源物は、リサイクル工場へ運ぶ前に、資源中間処理施設にて、選別して異物を取り除いたり、持ち運びやすいように圧縮・梱包する作業を行う。

### (1)品川区資源化センター

プラスチック製容器包装を除いた資源回収物の中間処理を行い、再商品化ルートに出荷する。

### (2)JR東日本東京資源循環センター

プラスチック製容器包装の中間処理を行い、再商品化事業者へ引き渡す。

## 3 リサイクル資源の売却

回収し、中間処理した資源物について、再商品化する事業者へ有価物として売り払い、事業経費に充当する。

## 資源処理フロー図

オリンピック・パラリンピック  
推進特別委員会資料  
令和2年6月10日  
品川区清掃事務所

